

女性のためのつながりサポート事業【北海道北見市】

総事業費	5,400 千円
交付金額	2,700 千円

地域の実情と課題

本市は、北海道東部の中心に位置し、産業・経済の中心、医療・学術・教育・文化など様々な分野での機能が集積し、中核都市としてオホーツク圏域をけん引している。

北見市労働状況調査報告書によると、正規雇用労働者の割合は男性57.1%、女性42.9%、非正規雇用労働者の割合は、男性42.1%、女性57.9%と、若干の差となっているが、年代別で見ると、女性では40代が25.5%となっている。また、業種別では「宿泊業、飲食サービス業」は3割に満たず、コロナ禍で「パート、臨時、季節等の出勤を調整をした」と回答した事務所が5割を超えており、生活状況には改善には至っていない。

事業の特徴

- NPO法人に委託し相談窓口の設置、SNS相談、居場所づくりの提供した。
- 相談窓口を記載したカードを同封し、女性用品の提供を行った。

事業の効果

目標50人に対し、相談人数67人と目標達成することが出来た。

無料相談会とイベントの同時開催や、週1回の居場所カフェの開催により、居場所づくりの徹底に努め、また、SNS相談窓口を開設したことで若年層の利用も増え効果が出てきている。

※年間延べ相談件数394件

目的・目標

孤独や孤立、不安を抱える女性が安心して生活できる支援体制の確立を目的として相談人数の目標は50人に設定、結果は67人と目標を達成することが出来た。

連携団体

NPO法人ワークフェア、ウィメンズ・きたみ、北海道警察北見方面本部、北見市自立支援センター、ジョブサポートきたみ、北見市社会福祉協議会、ハローワーク北見、夢ふうせんマイム、北見工業大学、北見看護大学、神社、銀行、食品販売店、ドラッグストア、カラオケ店、北見市関係機関等にポスター・カード等設置依頼するとともに広報活動を実施した。

今後の課題

若年層の支援では気持ちや状況が目まぐるしく変わることが多く、電話相談に比べて同じ対応時間でも得られる情報量も少ないため、より慎重な対応が必要となるなど、対応方針の課題が残る。

また、生理用品の提供方法について、必要としている女性へ一人でも多く提供出来るよう、場所や提供方法等さらに検討する必要がある。

事業の概要

相談会はイベントとの同時開催や、週1回の居場所カフェの開催をすることで気軽に相談することができる雰囲気づくりに努めた。

生き方・暴力・お金・家族・仕事・学校・人間関係・こころ・離婚・子育て等々・・・
ちょっとした不安や悩みでも、お気軽にご相談ください。女性相談員がお話を伺います。

電話
(平日9:00~17:30 担当:西村)
0157-57-3190

LINE
<https://lin.ee/FGqI8YS>
(返信は平日9:00~17:30)

すべての女性のための相談窓口
「ひとりで抱え込んでいませんか?」
相談無料・秘密厳守

来所・訪問
(要予約:お問い合わせください)

メール
josei@workfare.jink
(返信は平日9:00~17:30)

【お問合せ】NPO法人ワークフェア 女性のためのつながりサポート事業 (北見市主催)
北見市美芳町5丁目2-13 エムリンクビル2F
0157-57-3190 担当:西村
(平日9:00~17:30 水曜日は19時まで)

参加無料
出張相談会&居場所づくり「たんぽぽ」
ミニ講座を同時開催しています。詳細・日程はホームページ等でご確認ください。

居場所カフェ「夜たんぽぽ」
場所はお問合わせください
毎週水曜日(お日除く)
16:30~19:30

【お問合せ】NPO法人ワークフェア 女性のためのつながりサポート事業
北見市美芳町5丁目2-13 エムリンクビル2F

女性のための居場所カフェ たんぽぽ

毎週 水曜日
16:30~19:30
(L.O 19:00)
会場:カフェまんま様
北見市北進町6丁目4-39

予約不要・入場無料
気軽にしゃべり
ひとりで気軽に
過ごし方は自由
アフタヌーンあります

ドリンク&スイーツ
セットで300円
何も注文しなくてもOK
※高校生以下ドリンク無料

【お問合せ】NPO法人ワークフェア 女性のためのつながりサポート事業 (北見市主催)
北見市美芳町5丁目2-13 エムリンクビル2F
0157-57-3190 担当:西村
(平日9:00~17:30 水曜日は19時まで)

ココが入口です。
毎週水曜日のこの時間は女性限定です

エネオスさま 夕陽ヶ丘酒
メソンド愛さま1F 会場
最高速通り南4号線
カラオケ7DAYSさま
山手通
ひっくりドンキーさま
国道39号線 至北見駅
イトーヨーカドーさま

相談会や居場所づくりの際にアンケートを実施し、希望する方へ生理用品の提供を行った。その他、個別相談時に生活状況などを聞き取り、希望に応じて提供したほか、市内にある大学にて広報及び出張相談を行い希望者へ提供した。

チラシ裏面に相談窓口を記載し、公共施設や商業施設、学校などにも設置、周知に努めた。フリーペーパーの誌面広告などを利用して繰り返し周知を行い、相談に繋がった。